

5K_Team 2019-20 年次振り返り資料

ゴシックはチーム独自活動、その他は安佐南区社協経由事項

活動日誌

2019年

- 8月1日～安佐南区防災強化月間開始 ～ママの防災知恵袋～ほか展示協力
- 8月2日 広島市社協「ボランティアグループ立上助成金」ヒアリング取材
(市社協通信 No69 2019年9月号に掲載・紹介) — 参考資料参照 —
- 8月19日 八木被災地清掃・献花、八木・梅林巡回
- 8月20日 8.20 豪雨災害犠牲者追悼式参列(於:梅林小学校、八敷公園)
8.20 鎮魂会
- 8月21日 鎮魂キャンドルナイト竹材伐採・搬出応援
- 8月24日 毘沙門台機材倉庫点検、毘沙門台学区社協行事参観
- 8月25日 鎮魂キャンドルナイト掲示物作成
- 8月26日 チーム会計監査
- 8月30日 防災強化月間掲示物撤収
鎮魂キャンドルナイト会場準備
- 8月31日 チーム幹事会・総会、安全祈願
鎮魂キャンドルナイト
同上 反省会・懇親会(於:興動館)
- 9月7日 避難システム研究会オブザーバー参加
- 9月9日 祇園興動祭企画打ち合わせ会議出席
- 9月21日 広島県防災士会防災カフェ聴講
- 9月29日 避難システム研究会オブザーバー参加
- 10月1日 ママの防災プロジェクトミーティング参加
(以降 防災紙芝居プロジェクトへ参加)
- 10月10日 安佐南区東野学区ボランティアバンク作業応援
- 10月16日 区民まつり社協出展企画打合せ
- 10月19日 広島県防災士会防災カフェ聴講
- 10月23日 避難システム研究会オブザーバー参加
- 10月28日 宮城県石巻市の現状を聞く会参加
- 11月2日 安佐南区民まつり社協ブース運営設営(区ボラ連主体)
- 11月3日 安佐南区民まつり運営参加(")
- 11月4日 避難システム実証実験リハーサル参加
- 11月9日 広島市民ネット・防災研修会聴講(地域における災害危機管理)
- 11月17日 避難システム実証実験参加(於:安佐南区弘億団地)
安佐南区防災訓練参加(於:大塚学区/キャプテン)
祇園興動祭へ防災資料ほかを出展
- 12月6日 安古市高校・毘沙門台学区自主防合同防災訓練出講
- 12月11日 映画「星に語りて」上映実行委員会出席
- 12月16日 安佐南区ボランティア連絡会出席
- 12月20日 福島・広島交流会参加



2020 年

- 1 月 17 日 映画「星に語りて」上映実行委員会出席(#2)
- 1 月 21 日 大町学区防災訓練打合せ同席(於:安佐南消防署)
- 2 月 2 日 広島市防災研修会聴講(於:西区民文化センター)
- 2 月 8 日 避難システム研究会聴講(於:安佐南区民文化センター)
福島・広島交流会参加(#2)
- 2 月 9 日 安佐南区防災カレッジ出講(於:安佐南区役所)
「災害時地域支えあい活動チェックシート」による提案
- 2 月 14 日 西区社協地域防災研修会出講者打ち合わせ
3 月 7 日 予定→開催延期
- 2 月 15 日 広島市防災リーダー研修会聴講
- 2 月 16 日 大町学区・毘沙門台学区防災訓練 展示参加(於:安佐中)
- 2 月 18 日 映画「星に語りて」上映実行委員会(#3)
- 2 月 22 日 古市学区自主防救助・救急訓練参加(於:安佐南消防署)
- 2 月 27 日 安佐南区民児協・社協共同研修会聴講
映画「星に語りて」上映実行委員会出席(#4)会場準備
- 2 月 29 日 映画「星に語りて」上映実行委員会出席(#5)
※延期決定と会場前周知(於:安田女子大学)
- 3 月 31 日 令和 2 年度ボランティア保険更新手続き
- 4 月 1 日 安佐南社協登録ボランティア更新届出
- 4 月 29 日 鎮魂イベント実行委員ミーティング【開催延期】
- 6 月 29 日～災害記事スクラップ作業(於:区社協)
- 7 月 26 日 大塚伴南学区防災士研修会聴講(於:大塚小学校)
- 7 月 27 日～29 日 安佐南区防災強化月間展示作業



— 参考資料参照 —

—メモ—

**新型コロナウイルス
(COVID-19)主な動き**

- 1/29 広島県特別警戒本部
- 3/ 7 県内初の発症例
- 4/ 7 政府緊急事態措置
(関東・関西・福岡対象)
- 4/16 同 全国に拡大
～5/6 予定
- 5/14 同 39 県を解除
- 5/25 同 全国の解除
- 7 月末県内感染 345 例
同 市内感染 214 例

チームミーティング

●2019 年次総会兼第 8 回幹事ミーティング

日時：2019 年 8 月 31 日(於:広島経済大学)

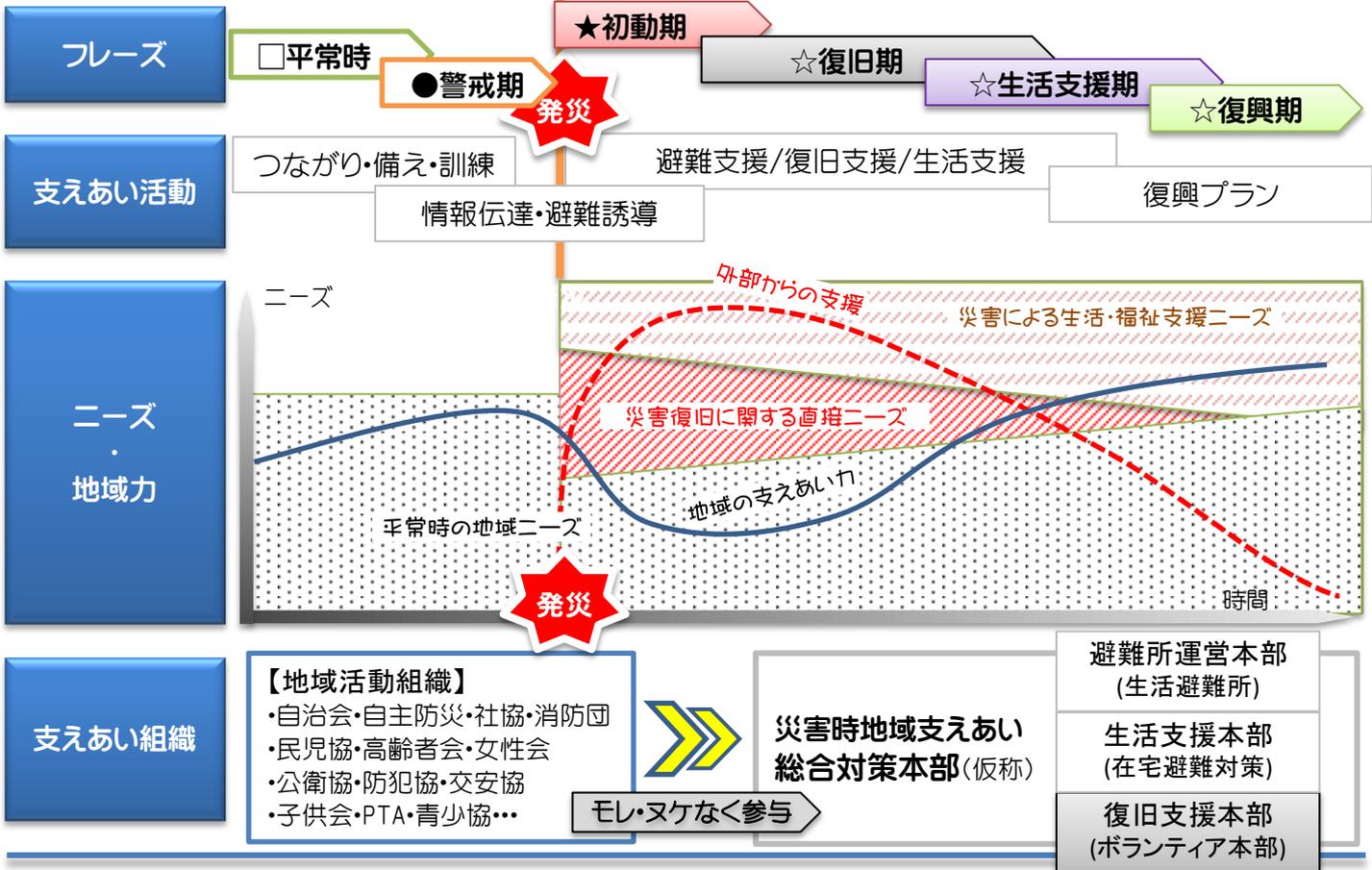
内容：活動の振り返り、活動計画ほか

参考資料

- 災害時地域支えあい活動チェックシート
- 市社協通信 No69



災害時「地域支えあい活動」チェックリスト



情報

- 居住者情報
 - ・町内会等連絡網
 - ・要支援者個別支援計画
- 情報収集ツール、ソフト
 - ・テレビ、パソコン、スマホ
 - ・防災メール、気象警戒情報
 - ・情報伝達ルート

● 気象情報
● 避難情報
● 避難誘導

- ★ 情報収集
 - ・被害状況、安否、避難者
- ★ 復旧支援対策(共助)
 - ・支援方法・復旧対策
- ★ 区役所対策本部情報(公助)
 - ・廃棄物収集、仮置場、重機支援
- ★ 安全、防犯対策
 - ・生活道路開削、空巣狙い

- ☆ 戸別(個別)ニーズ収集
- ☆ 情報発信
 - ・被災者への情報
 - ・ボランティアへの情報
 - ・マスコミへの情報
- ☆ 復興ニーズ把握

○ 集約・記録・共有・(報告)

- ・ニーズ数・動員数・資機材数・写真

ひと

- 支援者登録
 - ・ボランティアバンク
 - ・ボランティアセンター
- 予防・訓練、マニュアル
 - ・防災マップ、耐震診断
 - ・避難、救命、避難所運営
 - ・復旧支援本部運営

★ 招集、募集(初動)

- ・運営スタッフ
- ・支援活動ボランティア

★ 案内・誘導、現場管理

- ・交通整理・集合案内・駐車場誘導
- ・支援先案内・現場指揮

★ 被害防止、防犯

- ・通行止め、見守り、防犯パト

☆ 増援ボランティア確保(専門職)

- ・運営スタッフ(看護師・保健師)
- ・支援活動ボランティア(重機・高所)

☆ 復興推進

もの

- 防災資機材
 - ・機材借用先リスト整備
 - ・企業等との申合せ(覚書)
 - ・資機材備蓄整備

★ 活動拠点

- ・事務機能、集合場所
- ・駐車場所、輸送手段
- ・資機材置き場、救護室

★ 救助、防水等緊急資機材

- ・防災備蓄(町内、個人、小学校等)

☆ 被災者、避難者物資過不足確認

- ・食糧、給水、衛生、健康

☆ 支援活動資機材過不足調整

- ・不足はボランティアへ持参を要請
- ・区社協、区役所等へ調達要請

○ 返却

- ・資機材、物品
- 事務所等縮小

お金

- 支えあい資金
 - ・自治会費、積立金
 - ・行政への助成申請
 - ・共同募金等の助成申請

【緊急時支出項目】

- ・保険(ボランティア活動保険)、防護品、医薬品
- ・不足資機材補給、リース料、車両・発電燃料
- ・事務用品、通信、冷暖房、給水、湯茶、給食



発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
2019年9月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 (BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)
URL: <https://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

「平成30年度 ボランティアグループ初動期活動応援助成金」 助成団体のご紹介

ボランティアグループ 初動期活動応援助成金とは

広島市内のボランティア活動の活性化を図るため、経費面での支援が特に必要とされる初動期（設立後2年以内）の団体を支援することを目的とし、1団体につき10万円を限度に助成するもの。

今回は、平成30年度の申請団体に団体の活動内容や助成金の使途についてお話を伺いました。

手話サークルいこい

設立：平成29年4月

聴覚障害者と健聴者が手話で学び合い、お互いに助け合うことによって地域社会に聴覚障害者に対する理解を広めていくことを目的としています。13年前から手話サークルとして活動していましたが、平成29年にボランティアグループとして正式に会を設立し、現在は聴覚障害者7人、健聴者9人が会員として在籍しています。

▶活動内容

毎週木曜日に活動しています。午前中は、安佐南区緑井学区集会所で会員の勉強会をしています。



勉強会の様子

勉強会では聴覚障害者が講師となり、聴覚障害者が実際に使用する手話を学ぶことで、より実践に役立つ学びにしています。

午後からは、集会所に隣接する商業施設フジグラン緑井のフードコートで、会員でない聴覚障害者の方にも参加いただく懇親会を行っています。この場では、聴覚障害者の方とのお話を通して日々の困りごとをお伺いし、「電話の代行」や、「スマートフォンの不具合のサポート」を行う等、困りごと解消のお手伝いをしています。この他にも広島市の福祉バスを利用させてもらい、会社の見学やお花見、そば打ち体験等を行うことで親睦を深めています。

今後も、より多くの聴覚障害者の方に参加していただきたいと思っています。私たちが楽しく活動を継続していくことで、聴覚障害者の方にとっての行き場の1つとしていただければ幸いです。



懇親会に参加した会員と、会員ではない聴覚障害者の皆さん

▶助成金の使途

助成金を活用し講演会を実施しました。「アイラブ作業所」や「広島盲ろう者友の会」から講師をお招きし、お話を伺うことができ、会としての今後の活動の参考にさせていただくことができました。

防災・災害ボランティア活動支援チーム広島 (通称:5Kチーム)

設立：平成28年8月

平成26年8月豪雨災害時「安佐南区災害ボランティアセンター」の運営に携った有志により結成し、5K(互惠・お互いさま)は、記憶・継承、警戒・広報、教育・訓練、交流・交換、行動・活動など、冒頭のKを取り、ニックネームとしました。災害ボランティアに携った経験とノウハウを継承するとともに、万一の災害時に住民相互の支援活動が迅速・円滑に行えることを目指して活動しています。現在、会員は13人です。



右:キャプテン 桑田信介さん、
左:総務・広報グループ幹事 丸山周治さん

▶活動内容

平成26年8月20日、安佐南区は豪雨による土砂災害で甚大な被害を受けました。復旧に多くのボランティアが支援してくださいましたが、当時は現場、事務方も混乱し、災害ボランティアセンターを運営する安佐南区社会福祉協議会(以下:安佐南区社協)は大変な状況でした。そこで私たちも普段から安佐南区内で活動するボランティアとして災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。復興支援が落ち着いてきてからも活動を継続し、防災訓練や防災研修等への出講、防災フェス等での防災資料の展覧などを行うことで、経験の伝承・防災意識の向上に努めています。

平成30年7月豪雨災害時には、安佐南区社協を通して、被害のあった安佐北区に支援に入りました。4年前の経験を活かし、災害ボランティア活動に必要な資機材の運搬やテントの設営、活動後のボランティアのケアなど、その時必要とされることを考え、活動しました。

今後も防災活動等を通して地域のコミュニティづくりを進め、災害に強いまちづくりに貢献していきたいと思っております。

▶助成金の使途

災害時に活動するための備えの1つとして、活動に適したチームロゴ入りのポロシャツやヘルメットの購入に活用しました。



防災展示パネル